

走って、遊んで、食べて、ふれあい

第42回

茂原市つじじマラソン大会

教育委員会ならびに青少年相談員連絡協議会共催のつじじマラソン大会を開催します。皆さんの参加をお待ちしています。



◆期 日

平成30年1月21日⑩

小雨決行・荒天中止（予備日なし）

◆受 付

8時15分～8時45分

◆会 場

茂原公園

◆参加費

1人300円（保険料等）

◆対象者

市内在住または在籍の小中学生とその保護者

◆種 目

- ・親子レース小学校1・2年生とその保護者＝650m
- ・親子レース小学校3年生とその保護者＝920m
- ・小学校4年生＝1100m

- ・小学校5・6年生＝1500m
- ・中学生女子＝2000m
- ・中学生男子＝3000m

◆申込方法

申込用紙に記入し、各小中学校にある申込用ポストへ

◆申込期限

12月18日⑩

◆主 催

茂原市教育委員会・茂原市青少年相談員連絡協議会

◆協 力

茂原市陸上競技協会

お問い合わせは、
生涯学習課（9階）
☎(20)15559、FAX(20)16007へ。

市長が行く



茂原にはる工業団地について

茂原市長 田中豊彦



千葉県と一緒に進めている「茂原にはる工業団地」は、ほぼ造成も終わり、今は本格的な誘致販売を仕掛けているところですが、この3月に売り出した3区画はもとより、それ以外の造成地の販売もほぼ先が見えてきた状況になってきました。来年の2月に入札をすることになっているのですが、事前のアンケート調査で申し込み企業がいっぱいとなり、想定した以上の人気となっております。これはもちろん、茂原市独自で企業誘致に取り組んできたことの成果の表れといえますが、正直こんなにも早く目途がつくとは思っていませんでした。

以前にもこの欄で書いたかもしれませんが、成田空港と羽田空港に1時間で行けて、なおかつインターから5～6分で行かれる工業団地は、関東近県探してもなかなかありません。しかも他の工業団地と比べても破格の安さで売り出すのですから、そんな物件が売れないわけがないと内心では自負していたのですけれど、まだ正式に申し込みが終わっていないので、何とも言えませんが、今地方税収が伸び悩む中、茂原市にとっては大変明るい兆しが見えてきたように思われます。

先日、「しばむ地方、膨らむ交付税」という記事が新聞に掲載されていました。「自治体は自ら調達する税収だけではその仕事を賄いきれず、国からの交付税や補助金、借金である地方債に頼っている。このままいくと大半の自治体が国からの交付税がないと立ち行かなくなる。」という記事です。交付税を必要としない自治体は、原子力発電所を有していたり、企業誘致に成功したり、有名観光地のあるところ等が挙げられていました。国も大きな借金を抱えていますし、私は、いつまでも頼れるものでもないように感じております。茂原のような地方の小都市にとって、いかに企業誘致が大切かを改めて感じました。

企業誘致を進めるといっても、どんな企業でも誘致すればよいということではありませんが、それによる税収の増加、雇用の場の確保、そして人口増は、自治体の施策にとって大きな力になっていくことと考えます。

まだまだ借金の多い茂原市ですが、少しずつ不交付団体に近づいて行っていくような気がします。久々にちよっと明るい話題でした。

※不交付団体
国から地方交付税を受けない団体
(全自治体の5%弱)